

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

もやもや病に対する複合バイパス術後の血行動態改善機序の解明

研究計画

(1)背景・意義

もやもや病は進行性に脳血管の狭窄を来しその側副血行路として脆弱血管が増生する疾患である。脳梗塞や脳出血の予防目的に当院では複合バイパス術(直接血行再建術及び間接血行再建術)を行っている。直接血行再建術は術直後からの脳血流の増大により、また間接血行再建術は脳表への新生血管増生による側副血行の増大によって脳卒中の予防効果をもたらすと考えられている。しかしもやもや病の病勢や進行の程度は患者個々に異なっているため、複合バイパス、直接バイパスのみ、間接バイパスのみなどいずれの血行再建術を行うべきかはいまだに controversial な領域である。そのため、当院で施行した複合バイパス術の術後経過を調べることで、個々の患者の病態に合わせた術式の選択をすることが可能となる。

(2)目的

この研究は、当院で施行した複合バイパス術の術前、術後経過を調べることで、直接血行再建、間接血行再建がどのような症例で有効かを調査し、今後の手術術式の適切な選択を可能とすることを目的としている。

(3)方法

2019年7月1日より2024年4月30日の期間におけるもやもや病に対する混合バイパス術を施行した患者に関して、電子カルテ、画像データ等を用いて術前の血行動態や、術後の混合バイパス術の有効性などを評価する。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないよう匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

東京警察病院 脳神経外科 部長 吉野 正紀